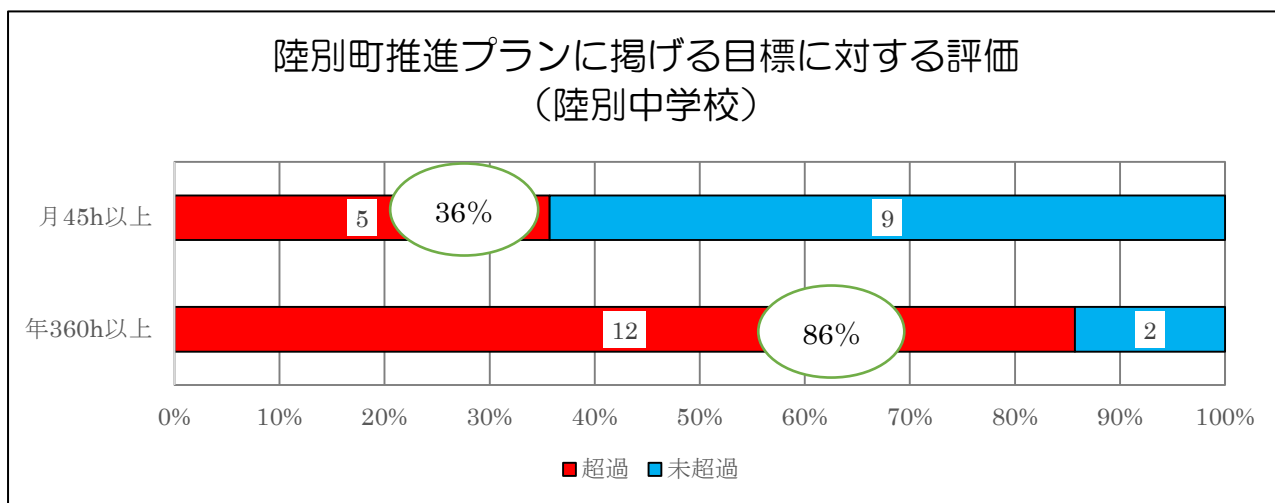
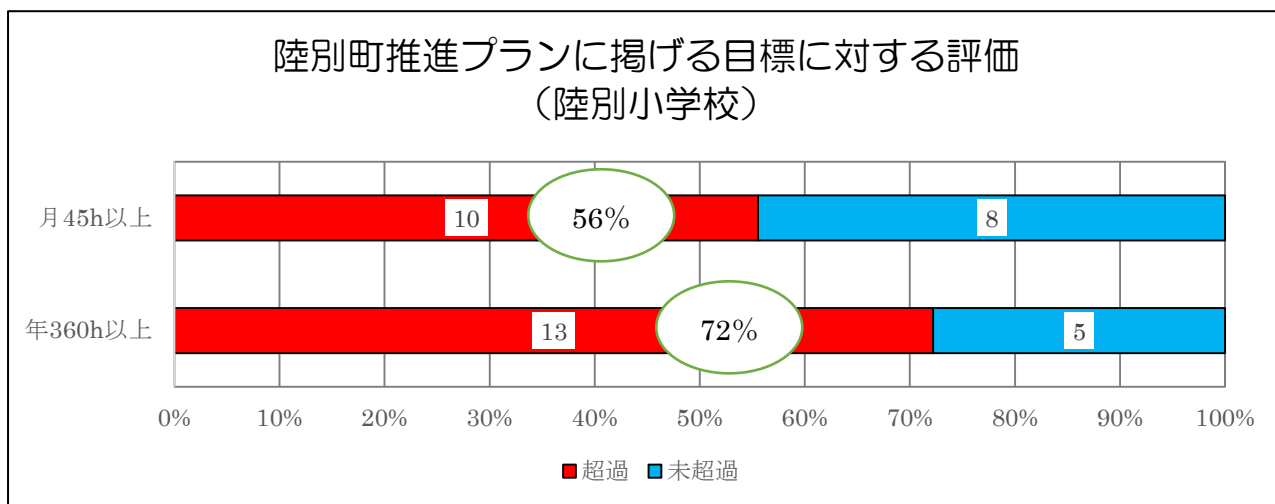


陸別町立学校職員の
働き方改革の取組
(令和2年度の勤務実態の把握)

1 学校における働き方改革「陸別町推進プラン」に掲げる目標に対する評価

【目標】

教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間を
1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。



教職員数については、校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員の合計で、年度途中の増減もありましたが、在籍していた実人数で整理しています。

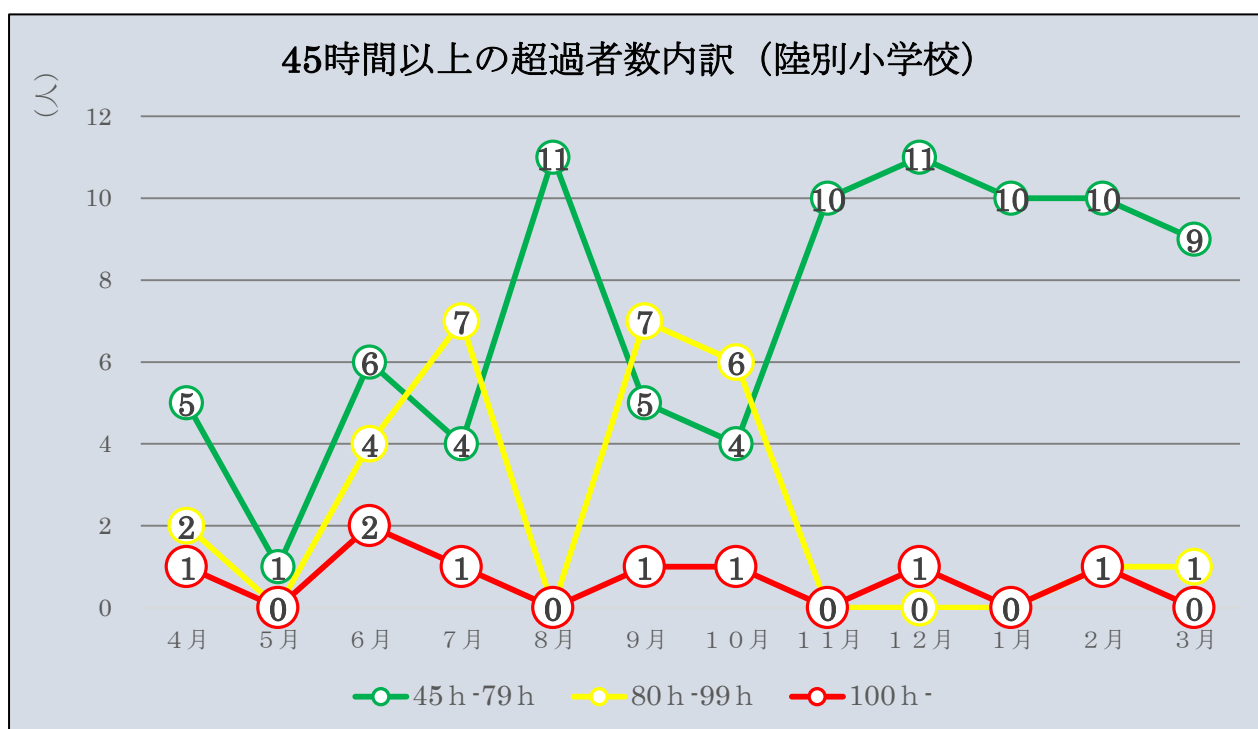
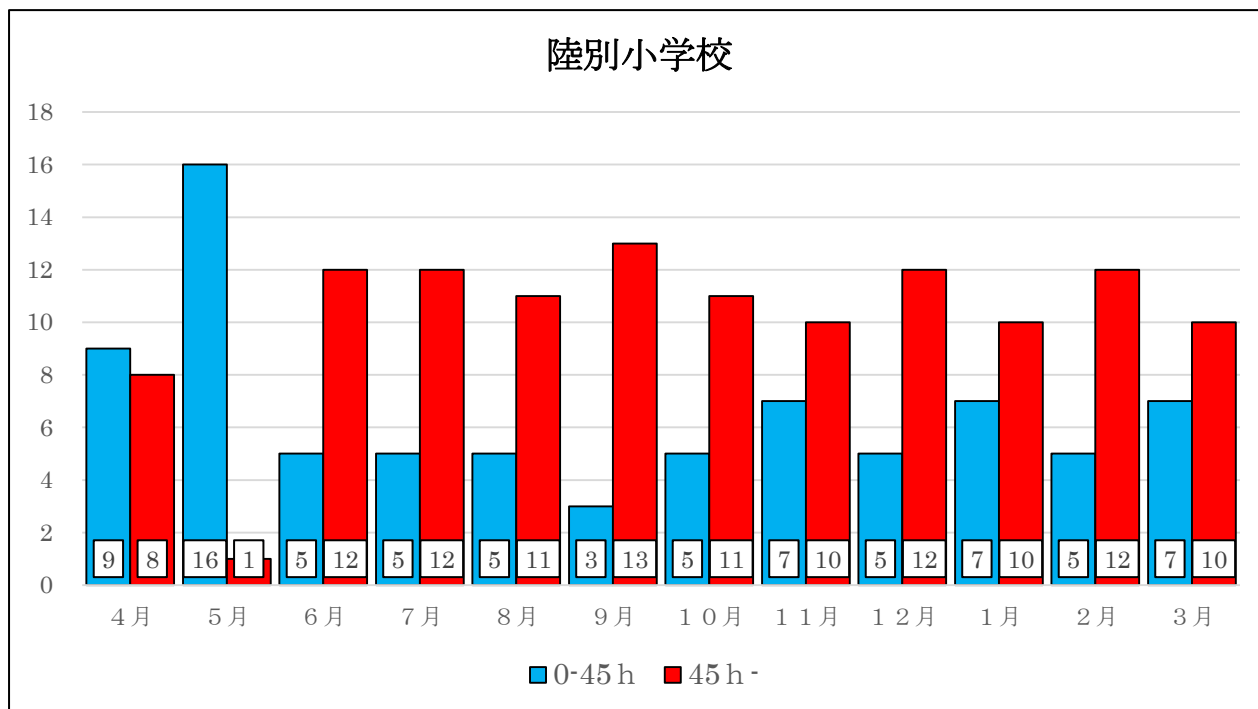
1か月の時間については、令和2年4月から令和3年3月までの平均時間を算出しています。45時間を超えた割合については陸別小学校では56%、陸別中学校では36%という結果で、陸別小学校では半数を超えています。

1年間の時間数について、360時間を超えた人数の割合は陸別小学校で72%、陸別中学校で86%となっており、陸別中学校でより高い割合となりました。

傾向としては、陸別小学校では勤務時間に多少の偏りが見られ、陸別中学校では偏りは少ないものの、ほぼ全員が1年について360時間を超えているという実態でした。

2 各月における時間別の人数

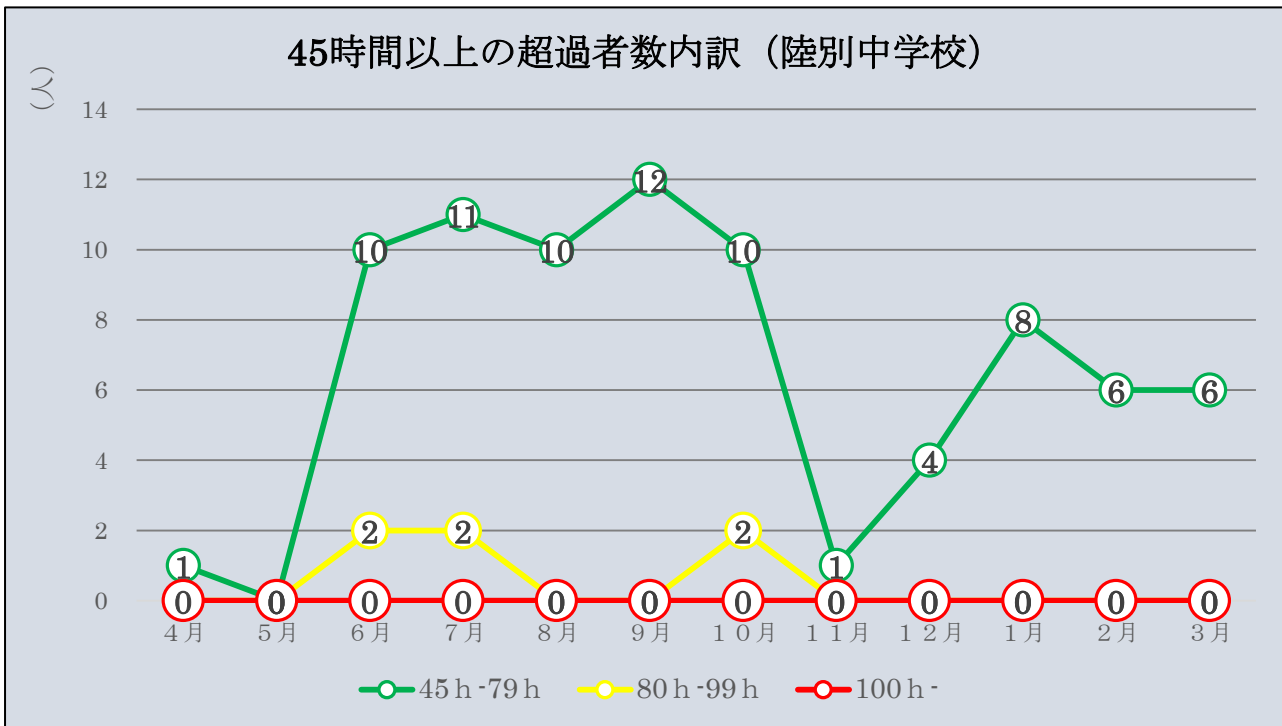
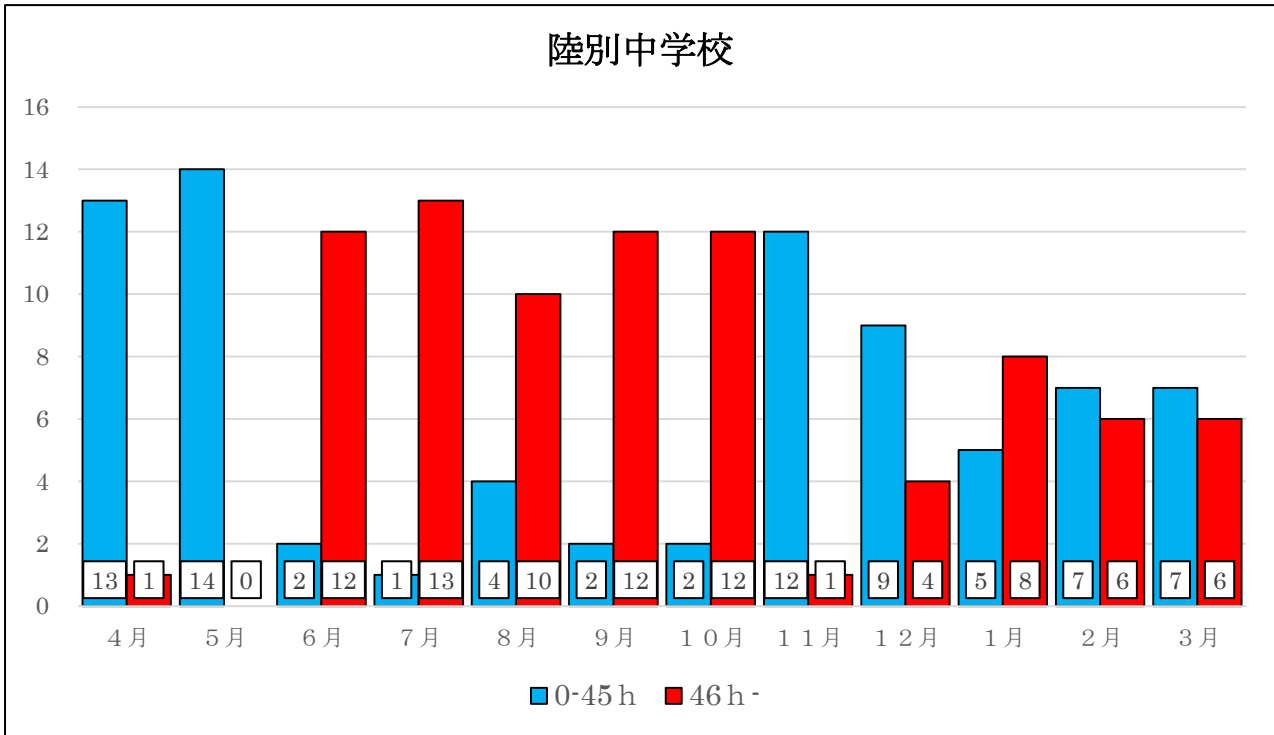
○陸別小学校



4月から5月にかけては、45 時間未満の人数が 45 時間以上の人数を上回っています。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う臨時休業のためと考えられます。

6月以降は 45 時間～79 時間の人数が多数を占めていますが、7、9、10 月では 80 時間を超える人数が多くなりました。授業準備、校務分掌に多くの時間を要したものと考えられます。

○陸別中学校

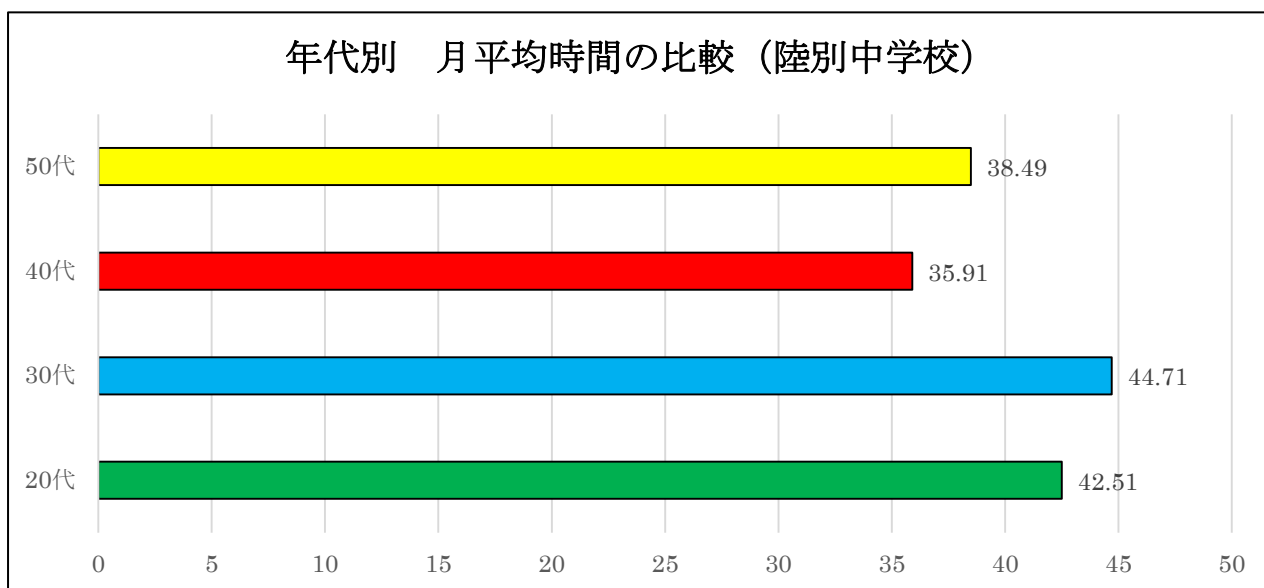
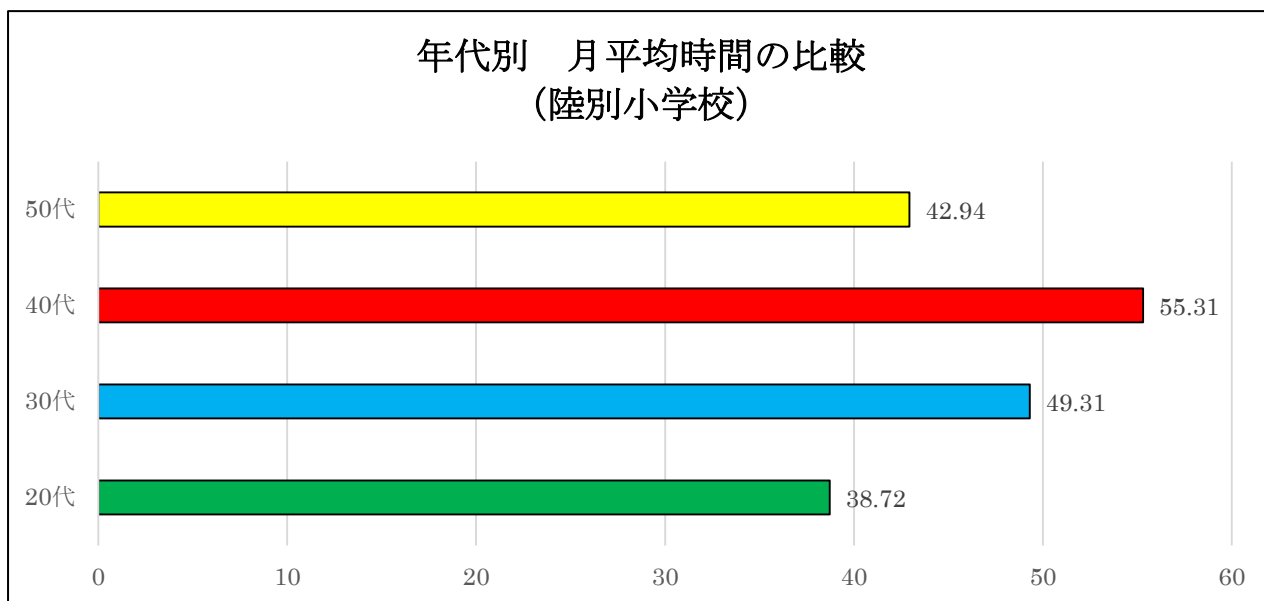


陸別中学校においても、4月から5月にかけて、45時間未満の人数が45時間以上の人数を上回っています。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う臨時休業のためと考えられます。

6月以降も陸別小学校と同様の傾向が見られますが、11月から12月にかけて時間外勤務を行った人数が少なくなりました。

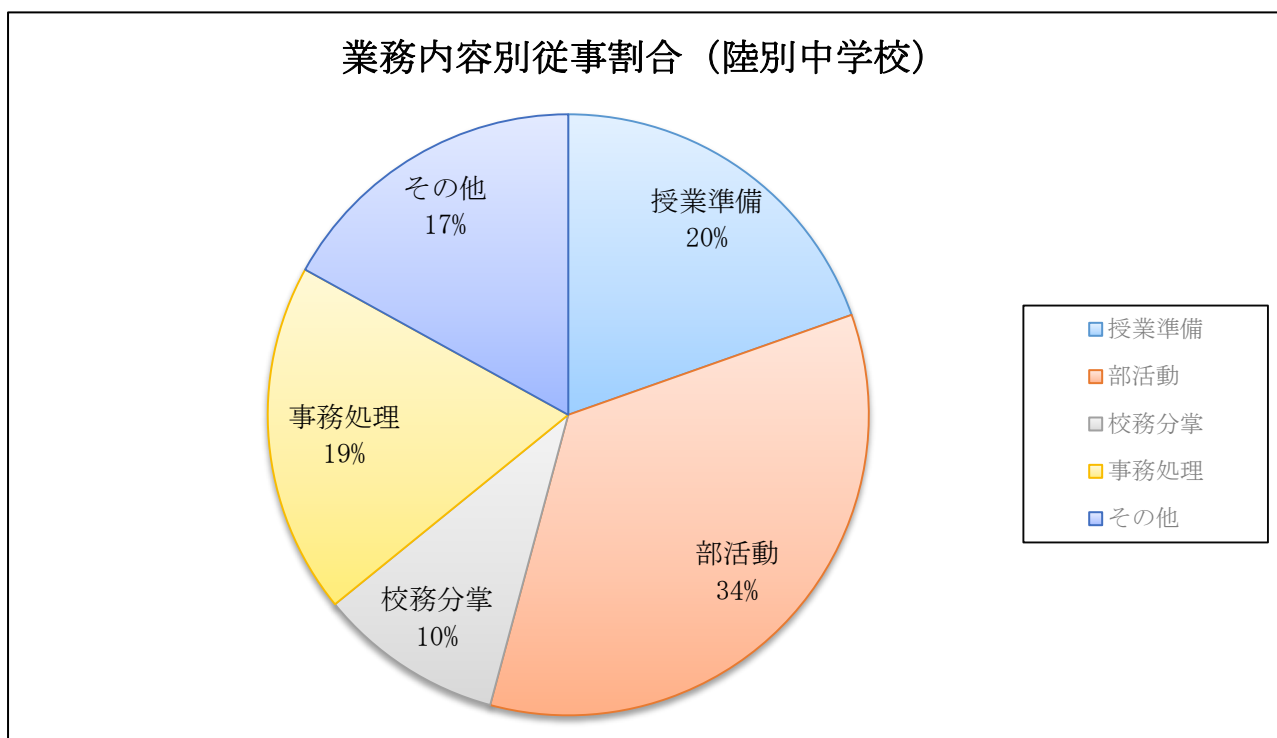
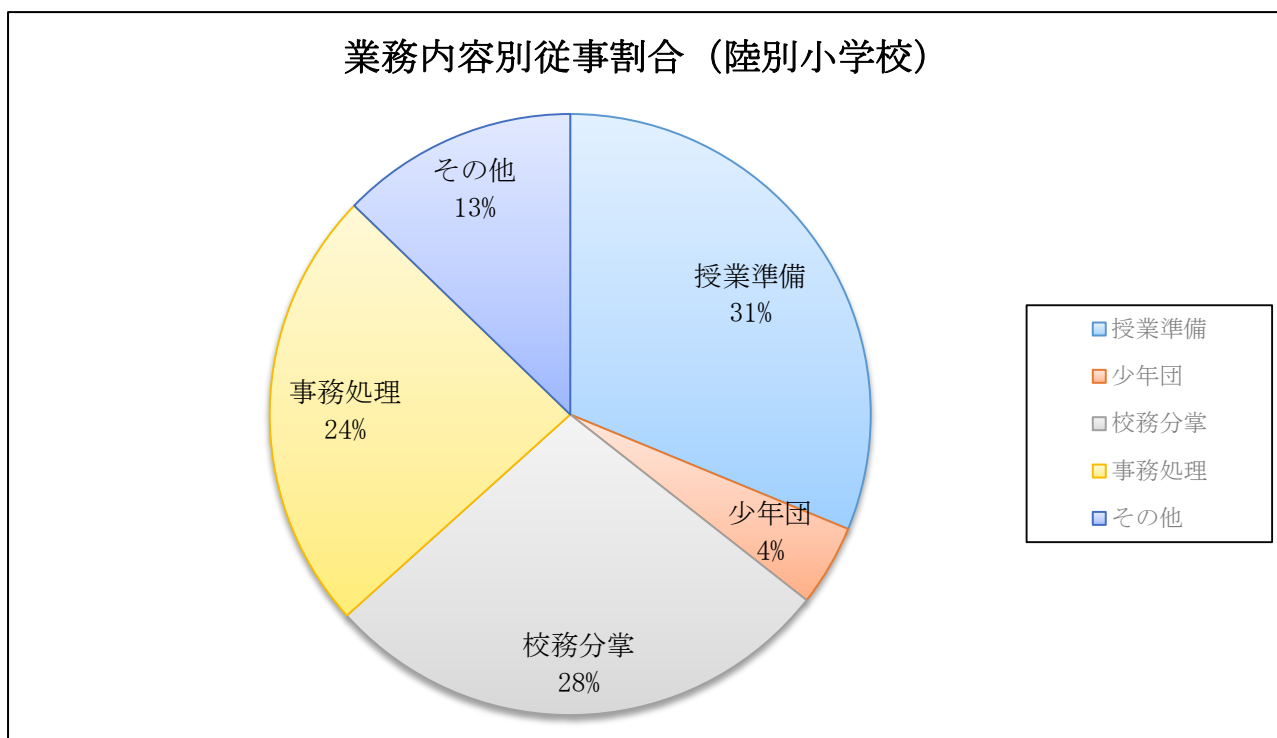
3 年間を通しての結果

○年代別 月平均時間の比較



年代別の月平均時間を比較しました。陸別小学校の40代、30代で45時間を超えています。

○業務内容別従事割合



陸別小学校では、授業準備、校務分掌、事務処理が同程度の割合となりましたが、陸別中学校では特に部活動に係る割合が高いという結果となりました。

4 その他

陸別町立学校管理規則の規定に対する評価

①第12条の2第1項

1か月について45時間 →陸別町推進プランと同じ

1年について360時間 →陸別町推進プランと同じ

②同条第2項（職員が児童生徒等に係る臨時的な特別の事情により業務を行わざるを得ない場合）

（1）1か月について100時間未満

陸別小 100時間超の実人数 3名 延人数 8名

陸別中 100時間超の実人数 0名 延人数 0名

（2）1年について720時間

陸別小 実人数 6名

陸別中 実人数 0名

（3）当該月の直前5か月を加えた期間における月の平均時間が80時間

（任意の6か月の平均時間について80時間）

陸別小 80時間超の実人数 3名 延人数 12名

陸別中 80時間超の実人数 0名 延人数 0名

（4）1年のうち45時間を超えて業務を行う月数について6か月

陸別小 実人数 12名

陸別中 実人数 10名